

第2次石巻市総合計画中間案【概要】全戸配布に対する御意見と石巻市の考え方について

市では、「第2次石巻市総合計画中間案【概要】」について全戸配布を行い、令和3年1月28日(木曜日)から令和3年2月12日(金曜日)までの間、市民の皆様御意見等を募集しました。この結果、計画(案)に対しまして、67の個人及び団体から136件の御意見がありました。この件につきましての市の考え方は次のとおりです。今回、御意見等をいただきました方の御協力に、厚く御礼申し上げます。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
1	将来像	<p>全体を拝見して、中間案として当たり前なのかも知れませんが、主要課題の設定に基づいた基本目標なり基本施策が抽象的な内容の段階では、項目の設定に対する意見は出せるものの、この項目の具現化とその手法が関心の高いところでありますが、残念ながらそこは未だ見えませんので、取り敢えず生意気ながら、一市民の意見として施策の展開に当たったの留意点他、意見を申し上げます。</p> <p>本市が目指す将来像について ～ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち～ 生活レベルの向上の一方で、等価可処分所得の減少により潜在的に生活の困難さがある事と、震災による個々への経済的負担、更には貧困家庭など、石巻の住民は全国的な傾向に加え、被災地特有の状況にあり、目指す将来像とは言え 多彩に煌めき とはあまりにも実感の湧かない文言と思われまじ、行政としても実現に苦慮されるのではないのでしょうか。</p>	<p>本市は、震災以前から住んでいる人、震災後に移住した人や震災を契機に来訪して下さる人など、他のまちと比べても多種多様な人々がまちに関わっています。さらに、川、海、山の豊かな自然や豊かな産業、各地域で継承されてきた伝統文化など、豊かな資源もあります。多種多様な人々や豊かな資源を”多彩”と表現しました。また、各自の持っている力や個性を発揮し、個々の輝きが相まってさらに輝くという意味を込めて、”煌めく”と表現しました。</p>
2	将来像	<p>「ひとりひとりが多彩に”煌めき”、とありますが、その字句はどのような経過で決まったのでしょうか？ふりがなを付してもその字句で表現したのには、意味があると思われまじ、わかり易い”輝き”ではいけなかったのでしょうか。さらに、私見ですが、多彩にきらめく(とかかがやく)という表現は、将来像にしても、飛躍？しすぎているのではないのでしょうか。「多彩に活躍し」とか自発的な行動を示す意味の文言が適切ではないのでしょうか？</p>	<p>6つの基本目標については、それぞれが独立した目標ではなく、連携が必要であると考えております。基本目標6につきましては、第1節を「市民に寄り添い信頼される行政運営の推進」とし、市民ニーズの把握や情報発信、市民サービスの向上等、行政から市民に向けた取組を示しております。それに対し、第2節では「持続可能な行財政運営の推進」とし、職員育成や行政運営、財源の確保や活用等、行政内部での取組を示しております。</p>
3	将来像	<p>表現を彩ることで市民の関心を惹こうということだと想像しますが、抽象的な表現にすることで真意がわかりにくくなっていないのでしょうか。「ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち」も「ひとりひとりが活躍し、市民協働で進む多様なまち」等、具体的に表現した方が伝わるのではないかと感じます。</p> <p>基本目標も、表現から読み取れる内容が基本施策との整合性が薄く、違和感を感じます。</p> <p>例えば基本目標6「市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち」が行財政施策にかかっていますが、これは市の施策すべてに共通する内容で、むしろ将来像のような大項目にあった方がいい内容に感じました。市民協働は行財政を改善するために必要だと言っているという誤解を生むのではないかと危惧します。</p> <p>また、将来像で多様性をもとめ、施策内容が多様性を受け容れられていない点については、行政職員、市民が共に対話を続けて学び続けていく必要性を強く感じました。</p>	
4	基本目標	<p>どの目標も大事なのだろうけれど、総花的で響かない。10年後の未来が明るいのか、不安もある。市が抱える不安材料、問題点を市民も共有したほうがいい。「共に歩むまち」を目指すならば、私が住む街は私が関わることが大切だ。</p>	<p>第2次石巻市総合計画では、社会情勢の変化やアンケート調査、現行計画の評価・検証等を通して主要課題を抽出し、本市が目指す将来像と6つの基本目標を設定しました。今回お配りした概要版には記載していませんが、基本計画(中間案)では本市の時代の潮流や現況、課題について記載しております。また、御意見のとおり、市民の皆様と協働したまちづくりを目指し、各施策に取り組んでまいります。</p>
5	方向性	<p>中間案で種々整理されておりますが、この内容をどのような手法でどう具現化するのが見えないので、先が見えません。どうか施策の展開の段階か何処かで現場の声を取り入れて頂ければ幸いです。</p> <p>最近、市の提案で「住民が主役のまちづくり」の議論をしておりますが、この総合計画の結果が少子高齢化による緊縮財政から、多くの部分で住民が担うような結果と、財政事情からあれもこれも割愛と言った幕引きにならない事を願っております。2040年には日本の自治体の半分が消滅すると予測されています。</p> <p>私共市民には、平成17年の平成大合併の成果が実感出来ないまま、少子高齢化に伴う緊縮財政により、行政サービスの低下を住民が肩代わりしなければならないと言う筋書きのようですが、住民の理解が容易く得られるとは思われません。場合によっては、住民が主役も有りとは思いますが、その場合でも行政がオピニオンリーダーとなって、住民に熱く訴える姿勢を望みます。石巻市そのものがSDGsを目指さなければならないのですから。</p>	<p>総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で推進してまいります。</p>

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
6	数値目標 重要業績評価指標	数値目標、KPIに関してはこれまで何度も意見させていただいておりますが、やはりここには相当の疑問が残ります。総合計画には、数値目標及びKPIは作らない。そこに関しては改めて施策ごとに丁寧に策定していただきたく思います。総合計画には、数値目標やKPIを誰がどのように決めていくのか、いつ、どのように誰がそれを評価検証し、場合によっては軌道修正していくのか、全体の進め方を明記することとめてはいかがでしょうか？	
7	数値目標 重要業績評価指標	<p>■提案:第2次石巻市総合計画 基本計画 中間案 資料2に記載されております各基本目標達成のための基本施策の数値目標と重要業績評価指標(KPI)の削除を希望いたします。</p> <p>■理由:</p> <p>1. 歴史的に見ても変化が特に激しいこれからの10年、KPIを機動的に見直し変化させ目標達成・施策実施させることが求められており、現場・各事業に落とし込まれた際、一度設定したKPIに縛られぬようにするため。</p> <p>2. 資料2に記載されておりますKPIが基本目標達成・施策と連動していないため。</p> <p>■代替案:持続可能な社会・地域となるよう、また「将来本市が目指す将来像」と将来比較できるよう、現状数値・目標数値を明記する。理由としては、今後、各施策・各事業におりた時に設定すべきKPIがより明確になるため。</p> <p>記載例: 基本目標1/2/3・・・現状数値・目標数値【%】 石巻市は住みやすい町だと思うか【よい・悪い・どちらとも言えない】 基本目標4/5/6・・・現状数値・目標数値【%】 将来石巻で働きたいか(今後も働きたいか) 【働きたい・働いたくない・どちらとも言えない】</p>	
8	数値目標 重要業績評価指標	基本計画の構成が、現状と課題、施策の体系、数値目標、KPI、市民ができること、施策の展開となっておりますが、数値目標、KPI、施策の繋がりが薄いと感じました。現代の社会はVUCAワールドと呼ばれ、不安定で変化が激しく、不確実で、複雑で、曖昧な時代とされ、常々変化する情勢に対応することが求められています。そのため、基本計画に基づく実施計画において、KPIは常日頃見直ししていく進め方が大切であるため、5年スパンでの基本計画に記載することは、かえってこのKPIに縛られ、成果を出しづらい結果を導くものと思います。KPIは実施計画毎に定め、基本計画への記載は再考いただきたいです。また、第1次石巻市総合計画のように、数値目標は現状、5年後、10年後を根拠をもって明示する必要があると感じます。	本計画の策定あたり、構成や内容について、全庁的な会議や有識者で構成される審議会等で検討を重ねてまいりました。数値目標や重要業績評価指標(KPI)については、全庁体制で検討しており、いずれも本計画で示す必要があると考えております。数値目標は、今回策定する前期基本計画の終了時期である5年後の目標値を記載し、後期基本計画の策定時における中間見直し後にさらに5年後の目標値を記載します。重要業績評価指標(KPI)は、5年後の目標を定めますが、御意見のとおり社会の変化が激しい時代であることから、社会情勢の変化に伴い柔軟に対応してまいります。実施計画では、活動指標及び成果指標を定め、ローリング方式で毎年度3年分ずつ見直しを行います。
9	数値目標 重要業績評価指標	数値目標やKPIに強い違和感を感じます。だれがどのように決めているのでしょうか。数値目標を市民ワークショップなどを開いて再度意見を聞くなど、再考できないでしょうか。事業の評価・検証が全体的にクオリティが低く感じます。形の見えづらいものに人と予算を投入するのは根拠の設定が難しいことと思いますが、事業を評価する一連の手続きにもっと人と予算を投入することで、全体として、費用体効果や、事業成果に結びつくのではないかと思います。	
10	数値目標 重要業績評価指標	<p>・市民のできること→「市民と行政の協働により実現できること」という書きぶりが適切。役割分担はあるにせよ、協働の意識を高めることでよいまちづくりとなると考えます。</p> <p>・KPIについては実施計画に記載し、地域社会の変動に対応し短期で見直しができるようにお願いします。市民が参画する会議等で声を届けた際に、固定的なKPIと市民ニーズに合わせた変更を検討するに及ばず、参画する意義が失われるためです。</p> <p>また、KPIの指標をこの機会に施策展開の充実を図る指標を設定することを期待します。</p> <p>・どれも大事な施策、どの地域、世代にも課題がありますが、未来都市選定を受けた石巻は「子どもたち、若者世代」を真ん中にして、「今」「未来」を考える計画にするため全体の文言の調整を行うことを希望します。また、グローバルな視点で、人や暮らしをとらえなおしていく中で、石巻市は「子どもの権利に関する条例」を持っているなどの良い特徴をもっと活かしたまちとしての見せ方も大事ではないでしょうか。</p>	
11	数値目標 重要業績評価指標	<p>・各施策について、数値目標が記載されていますが、現状の数値と目標となる数値の記載がないかと思います。現状の把握と目標の共有という意味で、必要かと思うのですが、現状の数値と目標となる数値の記載はできないのでしょうか？</p> <p>・数値目標について、何の数値を指すのか記載がないように思います。(例えば「市政に関心がある市民の割合」は何の調査の何の項目を指すかなど。)各数値目標は、どの数値を指すのでしょうか。</p> <p>・各施策について、KPIが記載されていますが、施策内容と一致していないものが多いと思います。</p> <p>KPIは記載せずに、目標数値のみ記載することは検討できないのでしょうか。</p> <p>・各施策において、「市民ができること」が記載されていますが、これは行政が作成したものに行政が記述するものではないように感じます。「市民ができること」は、市民が主体的に考えるものであると思います。例えば、各項目について、市民ができることを考える「市民ワークショップ」を実施するなどを通し、市民が主体的に参画する場を設けることは、できないのでしょうか。</p>	基本計画(中間案)では数値目標と重要業績評価指標(KPI)の項目のみ掲載しておりますが、最終的に現状値と目標値を記載します。数値目標の根拠となる調査項目につきましては、基本計画には記載せず、事務局内で管理してまいります。「市民ができること」の項目については、行政と市民が協働でまちづくりをしていくため、行政が取り組む各施策に加えて、「市民がまちづくりに関してできること」を記載しております。こちらの内容については、各ワークショップで議論していただき、いただいた御意見を参考に記載しております。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
12	評価検証	・生活に関することが抜け漏れなく網羅的に記載してあることが、今後10年間の市の発展に期待を持たせるものでした。検討ありがとうございました。 ・具体的に何がどうなるのかということを実施ごとの成果指標と目標値から知ることで、より具体的な10年後のイメージを持ちたいです。 ・また、前の計画の反省(目標達成度を今後の課題)についても知りたかったです。そこが反映されているのか見る為に。	今回お配りした概要版には詳細を記載しておりませんが、第1次石巻市総合計画及び石巻市震災復興基本計画で位置付けた全ての事業を評価検証し、さらにアンケート調査や基礎調査の検証を踏まえて、基本構想(原案)の第3章石巻市のいまに整理し、第4章まちづくりの主要課題を抽出して、6つの基本目標を設定しました。
13	表現	計画案は各事業の強化、充実、推進等の語句がならび抽象的で具体性に乏しい。	総合計画は、本市の施策展開の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
14	基本目標1	私は、町内会やボランティア団体の役員として、地域の活動に関わっておりますが、プライバシー保護のため、隣人同士のつながりが希薄になってきています。声掛けができないのです。互助の精神はとくに衰退しています。障害者がいても個々の生活に入り込めないし、助けが必要かどうかもわからない状況です。介護が必要な場合は、直接介護事業所に相談し施設と対象者、その家族との関係だけです。 今後、高齢者が多くなり、経済的に自活できない人が多くなるのは目に見えているのに、このような現実には石巻市の将来像として、地域コミュニティ活動活性化を求めるには無理があるのではないのでしょうか。	単身高齢者世帯の増加や転居による新たなコミュニティの形成等、様々な課題が生じております。御意見のとおり、プライバシー保護の観点からコミュニティそのものが希薄化しているのも事実です。市といたしましても、関係部署が連携した取組を推進してまいります。それと併せて、地域社会において、人とのつながりを深め、地域で支えあう体制づくりを進めることも重要と考えております。今後も地域社会と連携した施策展開を推進してまいります。
15	基本目標1	P14 少子高齢化に対応する移住・定住の促進 移住後の定住については、移住者の主体的な活動に加え、「迎える側が地域の仲間として受け入れ、ともに活躍できる風土づくり」も課題として追加し認識を高めていければと考えます。	基本計画(中間案)14頁の16行目を「移住者自身の安定した生活を確保し、積極的に活躍できる環境整備に取り組むとともに、 地域住民が移住者を地域の仲間として受け入れ、ともに活躍できる風土づくりも必要です。 」と修正しました。
16	基本目標1	○ 第1節 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実 姉妹都市・友好都市協定と関係人口の繋がりが無理やりに感じます。姉妹都市・友好都市協定は、文化交流を行なうことで、多文化共生や多様性を育むことにより、市の独自性等が向上するものであって、関係人口は少子高齢化や人口減少社会を補完する地域の担い手としての提唱であり、この二つを繋げるのは適当ではないと感じます。関係人口は仙台市など近い都市や首都圏をターゲットにした方が明らかに結果に結びつくと思うと同時に、萩市やイタリアといった遠方や、人口集中していない地方をターゲットにしても関係人口は増えないと思います。 地域の均衡ある発展を図る施策として、離島振興を強化する実施計画を策定し、その実施計画のKPIとして離島交流人口の人数を設定するなら理解できますが、水上と水下が逆転していないでしょうか。 ○ 第2節 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進 関係人口は第2節で述べた方がよいと思いますが、こちらには記載しないのでしょうか。逆に、文化の相互理解や多文化共生は友好都市等にかかってくる内容だと思います。 移住定住全体の数値目標は東京圏から本市への転入者数というよりは、転入率の増加や、転出率の減少を数値目標とすべきではないでしょうか。そのために必要な実施計画を考え、地方創生施策を活用し、実施計画のKPIが東京圏から本市への転入者数という設定が適当ではないでしょうか。	姉妹都市・友好都市との交流を推進することにより、対象都市からの直接的な関係人口の増加及び文化交流などにより地域の活性化につながることから、目標指標として定めています。 また、現在、日本全体において東京圏への人口が集中していることから数値目標として東京圏から本市への転入者数の増加を設定しています。
17	基本目標1	【第1章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち】 ●第2節 少子高齢化に対応する移住・定住の促進について ・数値目標が「東京圏から本市への転入者数」となっていますが、若者を中心に市外への転出者の数が多い状況を見ると、「本市からの転出者数の減少」についても、「目標数値」及び「施策の展開」が必要だと思うのですが、その点についてはどのようにお考えでしょうか？	
18	基本目標1	P11、P60 地域共生社会 石巻市では地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築として多世代交流拠点設置による地域力強化推進のモデル事業をおこなっておりますが、大変良い事業だと感じております。多世代交流の促進、生活における困りごとの早期発見(未然に防ぐ)、ピアサポート、見守り、関係機関への包括的な連携等、地域力を強化し共生社会の実現に大きく寄与しますので拠点設置について指標があっても良いかと思いました。	数値目標は、節に対する目標として1つのみ設定しています。指標としては設定していませんが、御意見について担当課と情報共有をいたします。
19	基本目標1	P16 日本人と外国人が相互を理解・尊重し、一定義されている「国籍や民族などの異なる人々が」の表現のほうが良いと思います。	基本計画(中間案)16頁「2 国際社会に対応する安心な定住環境を整備する」の2行目を「多文化共生社会を構築するため、相互を理解・尊重し、共に助け合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現を推進します。」と修正しました。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
20	基本目標1	P17 安心して暮らすための地域防災力の向上 全体的に自分で避難できる方の視点となっているので、「要支援者、要援護者」についての取り組みを追加してください。避難所での受け入れだけでなくその後の支援計画、受援計画等に要支援者、要援護者の「日常」の居場所やNPO等関係機関との連携体制を反映させることで、さらに防災力の向上を図っていく必要があると思います。特に妊娠期、乳幼児子育て期において、地域の安全安心は大きな関心があります。 (P61に一文掲載あることは把握しています)	基本計画(中間案)17頁の5行目を「災害時の被害を最小限に止める『減災』に向けた取組を重視していくとともに、要支援者(高齢者や障害者など)の安否確認や避難支援を迅速に行うための『支援体制づくり』が重要です。」と修正しました。
21	基本目標1	当中間案では先に県、市、地元において原発の再稼働が容認された。しかし原発について、どうして、日本中、世界中が大騒ぎし揺れ動いているのか、それは完成されたものではなく、常にトラブルのリスクがあり危険であることの証であると思う。福島原発、女川のそれらの原発に対し、私共の心の奥底にはいつも恐怖心があります。長期を要し莫大な費用もかかる。子や孫にツケを残すな、と言葉をよく耳にします。当中間案に少しでも一言でもいづれかの項目に乗せてもらいたかった。	基本構想(原案)の20頁に原子力発電所について記載しております。各関係機関と連携して取り組んでまいります。
22	基本目標1	P20 女性の社会参画については地域の子育て支援の充実と関係が深く、女性の参画を可能にする地域の子育て力の推進と共に強化する。 また、LGBTQ+などへの偏見差別についても「市民ができること」へ記載されておりますが大人への人権教育の機会が不足しているため、機会の充実を図る施策の展開。また、乳幼児期からの性教育の重要性について助産師との実践を行うなど、「男女共に働く」「地域の役割」のための狭義なものにとどめず、自分や相手を大切に地域の土台となるジェンダーの取り組みを展開に入れ込めると良いと考えます。	基本計画(中間案)21頁「市民ができること」の2行目「また、性的指向・性自認(性同一性)に関する偏見・差別をなくし、多様な価値観を尊重した共生できる社会づくりに努めます。」と修正しました。 22頁「2 社会のあらゆる分野における意識啓発を図る」の1行目を「男女共同参画への理解を深めるため～連携によるあらゆる世代への意識啓発活動を実施します。」と修正しました。
23	基本目標1	「ひとりひとりが 多彩に煌めき とともに歩むまち」と詠われた将来像を手がかりに、2月1日号市報とともに配布された概要版を読みました。 6つの基本目標についての「…目指します」という表現と、それに基づく基本施策についての「…の充実」、「…の促進」、「…の向上」、「…の推進」、「…の振興・創出・育成」等々という表現は仕方ないにしても、その先に続くはずの具体的な施策の展開が空欄でした。 基本目標と基本施策のいわば総論部分は抽象的な理想論でも、それを実現するためにどのような事業を設け、どう展開するのか、そしてその事業により目標がどう実現されたか(市民の目標満足度)の評価はどうなされるのかが、一番知りたいところです。 施策の展開の前提として、特に私自身の住む地域はどういう現状なのかと、概要版からは分からないため、市のホームページから、総合計画中間案第5編の地区別将来展望を開きました。 合併の経緯から石巻地区とされているものの、「石巻地区の現況」に地区東側に位置する渡波支所エリアや半島部への言及はありません。この地区は、地区中心部や地区西側などとは異なる状況で、課題も山積みです。 人口減少、過疎化、高齢化、震災後のコミュニティの崩壊が言われる中にも、ここに住み続ける以上、前を向いて自立した高齢者像を目指している市民のため、後方支援を計画には期待しています。 その観点から、「持続可能な公共交通ネットワークの整備の推進」に、「石巻市総合交通戦略」にあった「高齢者」が触れられていないのは残念です。 自動車運転免許証返納後の移動手段の確保は、高齢単身者や高齢者のみの世帯には特に切実な問題です。買い物や通院は言うに及ばず、交友関係・社会参加のための外出など高齢者の健康寿命維持も視野に入れた、使いやすい公営交通の実現のため発想の転換が必要です。健康な高齢者の増加は、医療費介護費用の減となり、広く市財政への貢献にもつながると思います。 将来像の言う「ひとり」に「私」も含まれているという感覚を持てるような計画であって欲しいと思います。	基本目標1の第5節「持続可能な公共交通ネットワークの推進」では、全ての市民を対象としていることから、高齢者と明記はしていません。石巻市総合計画で市の方向性を示し、地域公共交通の個別計画として石巻市総合交通戦略を策定しております。
24	基本目標2	○ 第1節 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実 清掃奉仕活動実施件数が増えればCO2削減量が増えるわけでないと思い、数値目標とKPIや施策とのつながりがないように感じます。数値目標は1つに絞ると矛盾が生まれてしまうため、必要に応じて増やしてもよいのではないのでしょうか。(市民の環境への意識の向上等)もしくは、掲載する節が適当ではないのかもしれないと思いました。(清掃活動は第2節ゴミ関係にまめた方が適当では?)	基本計画の数値目標は節に対する目標として1つのみ設定しています。第1節については、主に自然環境・衛生環境を含む生活環境の保全を表現しており、第2節ではごみの減量化を表現しています。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
25	基本目標2	P42 公園整備を推進する ルール作りについて、最近ではボールが使えない公園や、大きな声を出してはいけない公園など、子どもたちの遊びを制限し、奪ってしまうルールが増えてきており社会問題となっています。「憩いとやすらぎの空間」だけではなく公園が持つ「遊びを通して育つ」機能も含む表現に変更が望ましい。「赤ちゃんからお年寄りまで多世代が利用しやすい公園の整備・充実とルールづくり」	基本計画(中間案)42頁の「6 公園整備を推進する」の1行目を「多世代が利用する都市公園については、利用者のニーズに即した公園施設の整備・充実とルールづくりに取り組みます。」と修正しました。
26	基本目標3	○ 第1節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実 数値目標が出生率となっていることに危機感を感じます。この節はこどもに関わることで、石巻の将来にとっても重要で大切な項目であると感じますが、すべて出生率を向上させるために実施するのでしょうか。子どもを産む大変な役目を担っていただけた女性や、子どもに主眼を置いた内容にしたいと思います。子どもを主語とした、子どもの権利を尊重して守る項目はつくれないのでしょうか。	当節は、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の構築を目的としており、そうした環境を構築出来たか確認する指標の一つとして出生率を数値目標として設定しています。女性や子どもに主眼を置き、妊娠・出産・子育ての各ステージにおいて切れ目のない支援や子どもが安心して過ごせる環境の整備を図ってまいります。
27	基本目標3	【第3章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち】 ●第1節 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実について ・施策の体系として、「1 妊娠から出産・子育て期における切れ目のない支援を行う」、「2 子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する」、「3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する」とあるにも関わらず、数値目標が「出生率」のみになっており、不十分だと思います。施策として「3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する」とありますので、子ども自身が回答する項目など目標数値を追加することはできないでしょうか？ ・施策の展開に「子どもが地域のなかで健やかに成長できるよう、安心して過ごせる子どもの居場所づくりを推進します。」とあり、その中で子どもの権利に関する啓発活動を推進するとありますが、特に子どもの参加に関する権利は啓発だけでなく、具体的な取り組みが必要だと思いますが、その点はどのようにお考えでしょうか？	当節は、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の構築を目的としており、そうした環境を構築出来たか確認する指標の一つとして出生率を数値目標として設定しています。子どもの権利に関する啓発に留まらず、具体的な取組についても検討してまいります。
28	基本目標3	P45 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実 →子どもの育ち・子育て環境の充実 ※大項目に「子ども」を入れるのが適切と考えます。 ・子育てに関するアドバイスを多方面から受けられる…多方面によりバラバラのアドバイスが入ることで混乱する方もおります。そのために「子育て世代包括支援センター」の機能がより「包括的なアドバイスをワンストップのしくみで受けられる環境づくり」へ修正してはかがでしょうか。 ・現状と課題の部分に子どもを取り巻く現状と課題も入れ込むと良いのでは (例)虐待や貧困、いじめなど子どもの育ちをめぐる問題に対し、石巻市子どもの権利に関する条例を地域の大人や子どもたち自身が理解し、安心して過ごせる居場所や地域づくり、関係機関とのネットワークづくりを推進します。	「子育てに関するアドバイスなどを多方面から受けられる環境づくり」は、子育て世代包括支援センターを包含して表現しています。現状と課題では、子育て環境を主に表現していますが、その中に子どもを取り巻く環境の複雑化などを包含して表現しています。子どもの権利に関する条例、居場所づくり等については、48頁「3 子どもが安心して過ごせる環境整備」で表現しています。
29	基本目標3	(4)基本目標の中の(健康福祉医療)と(5)基本施策 子ども、高齢者、障がい者など、誰もが生きがいと役割を持ち →特に子どもは、役割や生きがいの前に、「守られ、安心して生活を送ること」が先決だと思います。 →基本施策では、子育て、高齢者、障がい者については延べられています「子ども」については記載されていません。 「子ども一人一人が、自分らしく暮らせるために、守られて育つ児童福祉の充実」などの文言を入れてほしい。	概要版では詳細を掲載しておりませんが、基本目標3の第1節「安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実」の「3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する」で施策展開の方向を示しております。
30	基本目標3	P51 高齢者の生きがいづくりを推進する ・高齢者の余暇を利用した という文言は適正でしょうか ・高齢者の方々を称え という文言「称える」という表現が適当なんでしょうか。	生活に必須な食事や睡眠、身の回りの用事などの基本的な活動や、仕事や家事などの労働以外で、自由に過ごすことのできる時間を「余暇」と表現しております。 基本計画(中間案)51頁「1 高齢者の生きがいづくりを推進する」の6行目の「高齢者の方々を称え」を削除しました。
31	基本目標3	P53～P54 第3節 障害の標記と障がいの標記が混在しておりますが、統一できない理由があると思いますが、「障がい」の表記できる部分は修正いただくと良いかと思っております。 1、障がい者の自立と社会参加への支援を行う ・個人の状況に応じ継続した福祉・保健・医療……ここに教育を加えていただければと思います。子育て支援や学校との連携が大変重要であると考えます。	「障害」と「障がい」で使い分けをしてはしましたが、「障害」の表記で統一しました。 基本計画(中間案)55頁の「1 障害者の自立と社会参加への支援を行う」の1行目を「個人の状況に応じ継続した福祉・保健・医療に関する、様々なサービスが受けられるよう各種支援体制の充実を図り、関係機関との連携を推進します。」と修正しました。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
32	基本目標3	P47 子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する ・手当等の経済的支援に加え、現在ある支援策を利用しやすくするため、利用料を減免する等の施策も社会に広がってきています。特にひとり親世帯や、多胎児育児世帯といった、利用してほしい方が金銭的な理由で利用できず困難な状況でさらなる困難を引き起こすことも多く、国の方針としても支援強化する方向であり、本市でも検討が必要と考えます。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。
33	基本目標5	P91 第2節 「社会を生き抜く力」生き抜くという言葉について厳しい世の中を反映して言葉を選ばれたと思いますが、今現在子どもである子どもたちにとっては重い言葉に感じます。また、自ら考えて判断・行動する人の育成のために基礎学力の向上を重視した教育、という部分が良くわかりません。	個別計画である「石巻市教育振興計画」と併せて「社会を生き抜く力」と表現しております。 基本計画(中間案)91頁の7行目「自ら考えて判断・行動する『社会を生き抜く力』を持った人を育成することを目指し、 <u>確かな学力とよりよく生きるための豊かな心の育成を推進してきました。</u> 」と修正しました。
34	基本目標5	第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち 第2節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実 「児童生徒が学習に取り組むうえで、経済的な理由や地理的な条件によって、不利な状況に置かれることなく、全ての児童生徒が等しく学習機会を教授できる環境を整えることは、将来を担う有能な人材の育成を図るうえで非常に重要なことです。」とあり、非常にその通りだと思うのですが、「この全ての児童生徒が等しく学習機会を教授できる環境」というのは学校のみを指すのでしょうか。 もしそうなのであれば、「学校に行きたくない」という子どもが学習機会を教授できる環境はどこになるのでしょうか。 不登校児の中にはそもそも登校したくないと思っている子どもも少なくはありません。発達の問題でずっと静かに座ってられない、自分の興味のあることにしか情熱を注げないといった学校という環境が合わないような子ども。学校で嫌な思いをして学校というものがトラウマ・恐怖対象である子ども。理由は様々ありますが、そのような子どもにとって「自立を促しながら学校への復帰を図ることを目的」として支援を行っていくことはその子の特性を無視した押しつけであり、子どもに寄り添っていない大人の自己満足にしかならないと思ってしまう。 できることなら、学校への復帰という前提をやめ、フリースクールなどの学校外の子どもが学習機会を教授できる環境も同時に整えていっていただきたいです。(教育機会確保法もご一読いただきたいです。)	
35	基本目標5	【第5章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち】 ●第2節 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実について】 ・施策の展開に「登校したくても登校できずに、不安な日々を送っている児童生徒に対し、安心できる居場所を提供するとともに、自立を促しながら学校への復帰を図ることを目的として、個々の状態に応じた生徒指導、生活指導、基礎学力補充の学習指導を行います。」とありますが、社会的に見ても、2016年の教育機会確保法の制定を契機に、フリースクールなど「学校への復帰を図ることを目的しない」学びの場の必要性が高まっているかと思えます。それを踏まえ、施策の展開を記述する必要があるかと思えますが、いかがでしょうか。	「学習機会を教授できる環境」については、学校に限定しているものではありません。 基本計画(中間案)の93頁「1 学校教育の充実を図る」の13行目にある「学校への復帰を図ることを目的として」を削除しました。 御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。
36	基本目標5	P87 第5章については、特に教育、学び育つ場が「学校」に限定的になっている部分に関して全体的な修正が必要と考えます。現在では、子どもにあった環境での学びが保障される社会になっています。石巻市ではすでに不登校の課題が大きくなっていますがフリースクールの整備が遅れています。これからの未来を描いていく総合計画ですので学校の環境整備はもちろんのこと、地域の中で子どもたちの多様な学びの環境を考え推進していく方向性が感じられることが良いと考えます。	
37	基本目標5	P93 学校教育の充実を図る ・「不登校生徒が最終的に学校へ復帰することを目的」とはしない、子どもにとって一番いいことを地域社会で考えていく学びの環境が推進されています。	
38	基本目標5	P94 3 有能な人材を育成支援する一有能な、は適切でしょうか	本市の奨学生制度でも「有能」という表現を用いております。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
39	基本目標5	1)人や地域それぞれが「スポーツ」をキーワードとしたさまざまな活動においていかにして地域の活性化に資する独自の工夫と活動を行っていくかなどを計画に入れてほしい。 2)高齢者や障がい者等がスポーツを通じて楽しみながら身体活動を行い、健康増進や生きがいを創出していくということなども盛り込んでください。 3)役所が縦割り組織というのは、従来から改善する意思は見当たらない。つまり、スポーツを通じた宿泊施設あるいは観光施設の利用向上による市内産業の活性化での視点が必要と思う。	概要版では記載しておりませんが、基本計画(中間案)では、基本目標5の施策の方向として、スポーツ大会の誘致等を通じた交流活動の促進、健康づくりや交流につながるスポーツ活動の推進を示しており、個別計画にて具体的な取組を推進してまいります。 また、御意見にありますとおり、縦割りでの施策展開ではなく、分野横断的な施策展開が必要であると考えておりますので、関係機関の連携を深めて各施策を推進してまいります。
40	基本目標6	【第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創る まち】 ・章題が「第6章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創る まち」とありますが、「第1節 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進」、「第2節 持続可能な行財政運営の推進」のいずれにも「市民と行政が共に創るまち」のための施策及び数値目標がないように思います。第1節に「1 多様な市民ニーズの把握に努める」とありますが、「ニーズの把握」であり、「共に創る」という市民と行政の協働ではないように思います。市民と行政の協働については、どのようなのだとお考えでしょうか？また具体的な施策がありましたら、お示ください。	市民と行政の協働については、市民意見を広く取り入れ、それらを可能な限り反映した市政運営を行うことと考えています。それらを実現するために、多様な市民ニーズの把握に努めることを表現しています。
41	基本目標5	P103 公民館が地域コミュニティの拠点になるとよい、図書館が利用しにくいといったことを市民の会話の中で良く聞きます。対応する施策があると嬉しいです。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。
42	基本目標6	第6章 P110 多様な市民ニーズの把握に努める ・「まちづくり懇談会や多様な主体との対話の場づくりを行い」という文言を入れてはいかがでしょうか。 ※まちづくり懇談会に限定しない対話の場がたくさんあることが市民協働のまちづくりには必要であると考えます。 ・意見や提案には当事者が関わりやすい工夫をする。子どもたちの施策であれば子どもたちが関わるなど。 ・市民ワークショップ等、市民が参画し出した意見は積極的に取り入れることを是非この総合計画から考えます。市民が有る感を感じられるよう表出することが次の協働を生み、良い循環ができれば行財政への好効果も出ると考えます。	市民意識調査、市政教室、まちづくり懇談会を例として挙げており、市民の皆様から意見をいただく様々な方法を引き続き検討してまいります。
43	復興創生1	3. 11の津波後の復旧復興関連の旧北上川河口からの両側土手高盛について 7. 2m曾波神付近までほぼ完成の様子ですが同じレベルの津波が発生したとき上流で土手を越える心配がある。	御意見につきましては、関係機関と情報共有いたします。
44	SDGs	SDGsの17目標は、それぞれがベン図の重なりをもっており、17の目標、169のターゲット、さらにその下に232の指標があります。本市の「第2次石巻市総合計画」は10ヶ年計画です。2021年はすでに始まりましたので、残り9年と考えますと、(4)基本計画における基本目標、6. 第2期復興・創生期間の取組と7. 地方創生の取組についてSDGsの17目標を割りふっておりますが、割りふっているSDGsの目標が多すぎるのではないのでしょうか。これでは、2030年の振り返りにおいて、SDGsの169のターゲットの何をどのように達成できたのか、さらにその下にある232の指標に落とし込むとどのように評価できたのか、分からないのではないのでしょうか。本市は「SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業」に選出されましたが、だからといってSDGsの17目標を多彩に設定し過ぎではないのでしょうか。	基本計画における基本目標、第2期復興・創生期間及び地方創生で掲げた方針を達成するため、各施策に取り組むことにより、SDGsの「17の目標」につながるという考え方であり、本計画でそれぞれの目標や方針が「17の目標」のうち、いずれにしているかを示しております。 また、基本目標や方針には、複数の事業や取組を位置付けており、それらの事業や取組に関連する「17の目標」が複数となっていることから、多数の設定となっております。
45	SDGs	SDGsについては、2015年に国連で採択されたにも拘わらず、国からは具体的な何かも示されていない。市がSDGs未来都市に選定されたということは良いことだと思うし、高齢者の外出自由を守り、高めてくれることを期待している。 しかし、今までのやり方ではない、思い切った変革を求めているのがSDGsのゴールであり、ターゲットではないだろうか。 私はSDGsの土台は13・14・15の地球環境問題だと思う。これから先の10年を考える時に環境問題を抜きにしてはならない。環境意識を市民にもっと強く持ってもらう。学生や女性の中には環境意識の高い人も多いため、いろいろなアイデアを募るのもよいのではと思う。 例えば、ごみの減量化についても、ごみ処理機やコンポストの助成などがあつたが、どの位の効果があつたのか、数値化することか、体験談を市報にのせるとか、町内会や婦人会を利用してのアピールとかの方法もある。 食品ロス問題は食品ロスカレンダーを配布して記入してもらう。ロスの量でどの位CO ₂ を排出しているか見える化する。 プラスチックの減量化については、市役所ではペットボトルや使い捨てのプラスチックを持ち込まないなど範を示していただく。 市民を巻き込んで！	SDGsの普及啓発及び取組を推進し、SDGs未来都市の実現に向けて全庁一丸となって取り組んでまいります。 地球環境問題に対する取組への御意見につきましては、担当課と共有し、今後、具体的な取組を推進する際の参考とさせていただきます。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
46	SDGs	SDGsモデル自治体として市民にどれだけその意識があるのか疑問である 周知させるような具体的な手段はあるのか？	市報では、令和2年5月号から毎月、SDGsの目標とそれぞれの内容、市の取組例を紹介しております。9月号では、市が提案したSDGsモデル事業の取組内容をお知らせしました。今後も、ホームページやマスメディアを活用するとともに、市民向けのシンポジウムを開催するなど、積極的に情報発信を行ってまいります。
47	SDGs	地方創生の取り組み 対応方針3(子育て) 家庭内で支え合うライフスタイルの形成に向けた改善を積極的に推進 →ひとり親家庭、共働きなど、家庭内で支え合うことは厳しいと思います。家庭内でなく、「地域で見守り支え合う」しくみが必要かと思っています。	概要版では詳細を掲載しておりませんが、基本計画(中間案)では、対応方針3の基本方向として地域ぐるみで子育て世帯のサポートができる体制づくりを示しております。
48	地区別	市民と行政が共に考え、協働して取り組むための長期ビジョンとしての町づくりをするとありますが、今まではごく一部の知識者、等々で行って来たものではございませんか。もう少し間口を広げ各自自治会、町内会等に出向いて広く一般の意見を聞くことも大事だと思います。当地区では6月の、運動会、8月の夏祭り、敬老の日に老人を励ます会、(歌、踊り敬老会の人たちの、カラオケ、子供たちの踊り等々を行い、子供から老人迄一体となって行事を行っております。(昨年はコロナで中止) 又、今年度は、自らの予算で、ふれあいセンターに換気機能付きエアコンを約80万円で設置し、デイサービス時に環境の良い場所にて老人たちの憩いのひと時を過ごしていただいてもらおうように予定しております。(4月には設置致します) さて本題ですが、今の総合支所では、ますます住民と離れてゆくと思います もう少し、総合支所に権限を与え住民の要望に応えることが市民と行政が結びつくものと考えます。幅広い人間層を集めて意見交換会をすることが大事だと思います。	第2次総合計画では、学識経験者等で構成される審議会、一般市民を対象とした市民ワークショップ、高校生や大学生を対象とした未来ワークショップ、各地域まちづくり委員会等から御意見をいただいて策定を進めてまいりました。市民と行政が協働してまちづくりを進めていくためには、御意見のとおり、より多くの市民の皆様御意見をいただくことが必要であると考えておりますので、御意見をいただく様々な方法を引き続き検討してまいります。 また、今後においても地域住民の意見を伺いながら、行政サービスの向上に努めてまいります。
49	地区別	・旧石巻市内以外の町の現状把握を！ (過疎化が急速に進んでいる、商店の減少)	今回お配りした概要版には掲載しておりませんが、基本計画(中間案)では、地区別将来展望にて旧1市6町ごとに地域特有の現状や課題、将来展望、施策展開の方向を示しております。
50	地区別	地域別将来展望について、11月下旬に行われた北上まちづくり委員会から出された地域としての意見が一切反映されていない中間案のままです。少なくともこれまで出された意見がここに全く反映されていないのは、おかしいです。	基本計画(中間案)は11月下旬に開催した地域まちづくり委員会の御意見を反映する前のものとなっており、現在は地域まちづくり委員会いただいた御意見を踏まえ、事務局で内容を検討しております。
51	地区別	雄勝地区の将来展望のためにも、雄勝支所の職員の皆様にご尽力に感謝申し上げた上で、益々の住民目線での働きに期待しております。	各地区の将来展望及び将来像の実現に向け、各施策を推進するとともに、市民の皆様と協働でまちづくりを行ってまいります。
52	住民説明	「誰一人取り残されることのない、安全で安心な共生社会」が実現されているまちを計画のテーマにしていることを、市民に知らせるため、地区(石巻・河北・雄勝・河南・桃生・北上・牡鹿)での説明会を是非、開催して下さい。	第2次石巻市総合計画について市民の皆様へ周知し御意見をいただくため、住民説明会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況から開催が困難と判断いたしました。今後の状況を考慮し、検討してまいります。

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
53	意見募集	<p>今回の第2次石巻市総合計画中間案の意見募集について、以下の通りの不適切な募集方法であることを指摘させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民に提示されたものが「意見書」「中間案【概要版】」のみであり、「中間案【本文】」を閲覧できる場所について記載されていませんでした。 2. 市HPの「第2次石巻市総合計画(中間案)を全戸配布いたします」にも概要版しかなく、本文がどこで閲覧できるかも書かれていませんでした。 3. 上記ページから入手できる意見書のWord版が、書き込み可能な「表形式」ではなく「画像貼り付け」で上から打ち込めないファイルでした。このようなスタイルの意見書は見たことがなく、市民の意見の入力を困難にさせています。 4. 中間案【本文】のウェブ上での開示場所が、「石巻市総合計画審議会第5回会議」の「資料2」として開示されているとのことですが、これはあくまで審議会で使用した資料でしかなく、意見募集の対象とわかる書き方ではありません。 <p>以上の募集方法では、石巻市の「パブリック・コメントの手続きに関する指針」第4に違反しています(市民等が容易に入手できない)。意見書とパブリックコメントが厳密には異なるということかもしれませんが、いずれにせよ閲覧できずに意見は書けません。</p> <p>総合計画での意見募集の重要性からも、あらためて市民が中間案をきちんと閲覧できる案内を明示した状態で再度意見募集を行うか、募集期間の延長を要望します。</p>	<p>住民説明会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況から開催が困難と判断し、市民の皆様へ周知する方法として、中間案(概要版)の全戸配布を行いました。現在の策定状況と概要についてお示しすることを目的として行ったため、全文の掲載は行わず、概要版のみの掲載としました。パブリックコメントは別途行いますので、その際は改めてお知らせいたします。</p> <p>意見募集の説明や意見書の様式につきましては、配慮が足りずに大変申し訳ございませんでした。今後は市民の皆様が各種情報を取得しやすく、意見や要望を出しやすい方法で行ってまいります。</p>
54	意見募集	<p>今回、中間案(概要)が全戸配布され、また、意見書のフォーマットが配布されたことについて、とても良いと思い、敬意を表します。一方で、ホームページ上において、概要版しか示されず、本文について提示がないのか問い合わせたところ、石巻市総合計画審議会のページにあると回答を頂き、本文は意見募集のページにリンクを貼った方がいいと意見させていただきました。検討するということでしたが、結果として対応されなかったことを誠に残念に感じました。また、意見書のワードも画像が貼り付けてある記入のできない様式であり、パブリックコメントの本質への向き合い方や姿勢について、再考いただけますと幸いです。</p>	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
55	基本目標1	物の復旧、復興はほぼ終り、(管理コストはUP)、一方、震災で打撃を受けた人々の心と、その上、見知らぬ人々が身近に暮らす、団地会等のコミュニティは、リーダーの成り手不足や、一年で交代する役員の経験不足、等本来有るべき、年々上達安定(安心)の方向とは真逆の状態です。 団地会では、となりの部屋に、知らない内に、知らない人が入居。知らない内に居なくなって、世間で言う孤独死も多い。 町内会も、団地会も、困った時に安心して相談出来る、一緒に行動してくれる「技能者」部門が必要です。当方は五団地を抱え、問題解決の作業は並大抵では有りません。 入居以来対応して来て、又、他町内の様子からも、切実に、そう思います。コミュニティ再生の必須条件と思います。	震災以前からの高齢化率の上昇に加え、震災後には単身高齢者世帯の増加、新たな住まいの再建や復興公営住宅への入居など、コミュニティを取り巻く環境は大きく変化した、課題が多様化しております。コミュニティ活動への支援や地域で活動する団体との協働、福祉や子育て、防災等様々な分野間での連携を深めて各施策を展開してまいります。
56	基本目標1	高齢化の中、コミュニティが継続できない事象が散見される 市内大規模ネットワークをハードソフトともに整備し 取りこぼしのないサポートが必要である 20年前にも提案したがいっこうに改善されない	
57	基本目標1	①自助・共助・公助については否定しないが、各地域コミュニティに自助・共助への過度な期待をしないでほしい。 公助のタイミングが重要と考える。 ②現在も福祉関連施策(包括ケア・地域自治システム・生活支援体制整備)が展開されている(されつつある)がどうしても縦割りでの施策展開が否めない。施策そのものは理解するが、縦割りをなくし、各地域の実情を把握したうえで進めてほしい。(地域での余力はない) ③旧市内、総合支所管内、支所管内で自治会長・区長・行政委員の役割、考えかた等に違いがあるように思える。新たな総合計画を進めるにあたり、直接的な課題ではないかもしれませんが、地域間交流、情報の共有、地域課題等々の解決(石巻市地域連携会議)等々のためにも見直し(切り口を揃える)が必要。	基本構想では、6つの基本目標の連携について示しております。御意見のとおり、縦割りでの施策展開ではなく、分野横断的な施策展開が必要であると考えておりますので、関係部署及び関係機関の連携を深めて各施策を推進してまいります。
58	基本目標2	現在牡鹿地区鮎川浜では河川工事中ですが、河床は大小の石及び多数の中洲が発生しておりますので、魚が遡上出来るように、あの程度小さ目の石で平らにして、自然環境に優しい整備をお願い致します。	御意見につきましては、関係機関と情報共有いたします。
59	基本目標3	現在牡鹿地区鮎川浜で行われている復興工事について、パークゴルフ場の早期完成をお願い致します。	牡鹿地区健康づくりパーク場につきましては、令和3年度中の完成を予定しております。
60	基本目標3	コロナ禍について、お陰様で感染者は少なく安心はしておりますが、いつ自分の身におこるか心配しています。果たして収束するのか、いつまでもこのまま続くのか思いがめぐり、気落ちしてしまいます。こんな状況にあって、幾分かの市の情報や今後の保健指導等があれば安心できるのではないかと思います。そうした企画をお願い致します。	本市では、新型コロナウイルスに関する健康相談や緊急経済対策等、各種相談窓口を設けております。今後も、市報やホームページ等を通して情報発信を行ってまいります。
61	基本目標3	・市立病院に産婦人科の新設を！ (コロナのためか、日赤病院で一部出産患者の受入れを拒否して驚いた) ・整形外科～紹介状なしでも受診できるように	産婦人科の新設につきましては、産婦人科医師の不足により周産期医療の拠点化が進んでおり、医師の確保が非常に厳しい状況となっておりますので、ご理解をいただきたいと思います。 また、整形外科への受診につきましては、医師不足により整形外科的な専門治療が必要と認められる場合に診療を行っておりますので、まずは、かかりつけ医で受診していただきますことをご理解いただきたいと思います。

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
62	基本目標4	石巻の一次産業は、その素晴らしい資質を活かしきれていない。これは商工会に問題がある。地域一体となるべき産業のつながりがこの地域では希薄に感じられる。商工会は大いに反省し思考の転換が必要。	関係機関との連携を深め、産業振興を推進してまいります。
63	基本目標4	第2次石巻市総合計画は東日本大震災からの復興として市の課題を全般的にとらえており良いと思います。しかし昨年発生したコロナ禍で世界的に「ニュー・ノーマル」社会となり「三密」を否定することとなりました。基本目標のNo. 4産業振興のみが経済関係で他の5項目は民生関係です。産業振興を強化すべく組織の拡充や具体的な施策の検討を早急に取り組まないと、新市長誕生後の空白時間のため他の自治体に比べ遅れる事が危惧されます。	新型コロナウイルス感染拡大に係る経済対策につきましては、各個別計画等で推進してまいります。また、市長選後に各施策が遅れることがないように進めてまいります。
64	基本目標5	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち と記述してありますが、①学校教育の中で人間力の向上のための教育プログラムがあるのでしょうか。②学校教育の他に子供達が学べる施設などが不足してはいないでしょうか(例:図書館、科学館、美術館など) 今度完成する市民会館には郷土文化や郷土芸能などを展示するコーナーはあるのでしょうか。	①本市では、社会の変化に主体的に対応し、自ら考えて判断・行動する「社会を生き抜く力」を持った人を育成することを目指しており、個別計画にて各施策を推進しております。 ②新しい複合文化施設では、文化芸術センターや博物館を備え、考古、歴史、美術、民俗等に関する資料を展示いたします。
65	基本目標5	・学校(小学校)の遊具や図書の実を！ ・市政策案に大学生、高校生の活用を！	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。 なお、第2次石巻市総合計画では、高校生・大学生を対象とした未来ワークショップを計6回開催し、本市のこれからの担う世代のまちづくりに関する柔軟な発想や多様な御意見をいただきました。今後も、学生が市政に関して意見交換する機会を設けてまいります。
66	基本目標6	税金・・・東松島市と比べて高い。(よって、人口が流出する。)	本市の市税に関しましては、概ね地方税法で定められている標準税率を適用しております。保険税額を算定する際の税率につきましては、それぞれの市町村でかかる医療費などをもとに県が算定した標準保険税率を参考に決めているため、市町村ごとに保険税額が異なります。
67	基本目標6	行政・・・対応が悪い。人員が多すぎるため、人員整理が可能ではないか？管理職が多すぎる。財源が厳しい。人件費から節約しないと破たんする。	市民に求められる職員像の実現に向け、職員の意識改革を行ってまいります。また、東日本大震災後は復旧復興事業に伴い職員が増加しましたが、今後は組織体制の見直しと適正な職員数による効率的な行財政運営を推進してまいります。
68	基本目標6	行政的で心がけない(上面で活字だけ)。心のケアと言いながらの10年。週5日制、心のゆとりと言いながら、学識経験者とかマニュアルとかで一つの方向への流れで、地域も社会も人が育成される事がなく現在。震災でこわれたコミュニティ。コロナ禍でこわれたコミュニティ。意見でなくても、声に耳を傾け、押しつけるでなく聴く心、他の人を思いやる心を。自分の立場だけでなく、人対人であってほしいです。寛容でなく、無関心。信頼関係がなければ相談も意見も出ません。復興工事と言いながら台風でも水害にもあう。心のケアと言いながら、傷つけられた感じが強い。	市民に求められる職員像の実現に向け、職員の意識改革を進めるとともに、市民からの意見・提案を市政に反映させる機会を実施し、市民と協働したまちづくりを推進してまいります。

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
69	基本目標6	主役が『ひとりひとり』とのことであるならば、前回の市長選における低い投票率をどのように改善するのか具体策を示すこと。(ボランティアで投票所への人員輸送をやりたいという声は聞こえている市はその情報を拾っているのか?) また目宝箱の設置を強く望む。	市政の現状や施策などの各種情報を広く市民へ周知するため、市報やホームページ、マスメディアなどを活用して、市政への関心を高め、投票率の向上に努めてまいります。 また、要望につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。 なお、市政へのご提案は、本庁・各総合支所・各支所に設置してある「市政提案ポスト」、ファクシミリや郵送、電話でも受付しています。 電子メールの場合は、市ホームページの「市政へのご意見・ご提言」バナーから送信できるようになっております。
70	地区別	半島や雄勝方面が完全に取り残されており、市への不満を通り越しまったくアテにされていない声があがっている。 石巻ではマイノリティ重視の世論に大きく反する政治が行われている。大きな改善を必要とする。	地域の風土に根ざした特性を有していることから、本市全体の調和に配慮しつつも、各地区の現状を把握し、それぞれ固有の課題の解決に向けた取組を推進し、市民と協働したまちづくりを推進してまいります。
71	地区別	自助、共助を促すことは良い事ですが、やりかたを市街地と離半島部で分けて考えて欲しい。住民の意識を高めるコーディネートや中間支援では、リタイヤした元気な高齢者がほとんどいない地域ではその労力やコストに対して成果がほとんどありません。よって離半島部では方針を180度転換し、やる気のあるものに報酬を払う、公助で行うなどして欲しい。(見守り、移動支援、買い物支援、サロン活動など)	基本目標につきましては、本市の全体的な方向性を示すものではありませんが、地区によって特色や課題が異なることから、実情に合わせた施策展開が必要であると考えております。 取組に関する御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
72	その他	市税が建築系に多く流れているように感じます。直す必要のない道を何度も直し、直すべき所が直されません。ヒマな建設会社が市からお金がほしい時に直しているのか?とさえ思います。 又、ある人が石巻に数億円寄付し、その使い道を市にきいたら「答えられない」と言われました。このようなムダに感じる道路整備に流れてばかりでは次回の寄付はありません! 必須項目をうめてあれば全ての意見を公開するのでしょうか?それとも忖度するのでしょうか?	御意見につきましては、担当課と共有し、今後の市政に活かしてまいります。 また、必須項目に全て記入していただいた方の御意見につきましては、全て公開しております。
73	その他	私は精神障害者ですが、以前市民会議にもメンバーとして、参加していました。 はっきりいって、あなた方に何も期待なんかしていません。	将来像の実現に向けて各種施策を推進し、市民の皆様と協働したまちづくりを推進してまいります。
74	その他	石巻南浜津波復興祈念公園について。 2020年度中の開園と聞いていますので既におおたてできあがっているとは思いますが、植栽はどうなっているのでしょうか? 津波の記憶を風化させないという意味と、復興のシンボルとしての意味と二つあると思いますが、是非震災に興味のない人にも来てもらう工夫をしてほしいと思います。具体的には、みちのく湖畔公園のコキアやひたちなか海浜公園のネモフィラのように、花の存在だけで全国から人を集めるような目玉が欲しいです。花目当てで来た方が震災について知り、あるいは震災に関心があつて来た方が花で癒されるように。	南浜復興祈念公園の植栽につきましては、環境条件を踏まえ、周辺に現存する自然植生や郷土で歴史的に形成された植栽をモデルとし、犠牲者への追悼と鎮魂の場にふさわしく、復興の象徴をイメージした配置を行っております。
75	その他	・1年に2回位は今回のような意見募集を。(その他の方法では意見は出しにくい。原発についても行ってほしかった。) ・役所の人にイオンが入り、行くことも多くなった。一階に募金箱を誰でも入れやすい形で設置してほしい。	原子力発電所についての意見募集及び募金箱への御意見につきましては、担当課と共有し、今後の参考とさせていただきます。 意見募集の方法につきましては、この度住民説明会を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染状況から開催が困難と判断したことから、第2次石巻市総合計画の概要を市民の皆様にお知らせするため全戸配布いたしました。今後、意見募集を行う際の参考とさせていただきます。

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
76	基本目標1	過去10年は、震災復興にすべて市政はかかりつけになり、今だ震災前には戻っていない。震災により住んでいた土地に戻れない住民が知らない土地で生活を余儀なくし、コミュニティの欠如により孤立し、一人暮らしでは酒におぼれる者も多い。	
77	基本目標1	我が国は、一般論として高度経済成長と共に家督制度が失われ、昔のような向こう三軒両隣の互助の習慣が薄れ、しかも女性の社会進出が進むと共に、隣近所の交流も希薄になっております。 このような中での親子の絆、周囲とのコミュニティの復活を図るために住民同士の支え合いが叫ばれておりますが、現役世代の取り組みなど住民主体の取り組みは容易ではないのが現実です。住民の心を動かす取り組みの提案などが必要とします。(他地域の事例など)	
78	基本目標1	移住、定住するメリットが無い。・・・女川町のような、子育て支援もなく、若い世代が石巻に住み続ける魅力も無い！若者は便利な仙台、東京に住みたいと思うのが普通だと思う。	
79	基本目標1	地域おこし協力隊ですが、石巻市の場合は三大都市圏(政令指定都市含む?)からの移住者を求めています。これをもっと広げて全国から応募できるようにすれば、応募者は確実に増えると思います。 もう一つは、弊社も地域おこし協力隊を受け入れる事業者として申請をしたいのですが、市の広報では事業者の随時募集の案内がでておりません。事業者の申請に関しても、随時募集にさせていただくと助かります。	
80	基本目標1	○ 基本目標全てに関して 女川原子力発電所の再稼働に関して真摯に向き合っていない。 原発の存在はメリットもデメリットもあります。産業や環境、安心安全なまちづくりや子育てなど全ての項目に影響を及ぼします。真摯に向き合わなければ石巻市の姿勢に疑問符が付きまします。 まずは、PAZ.及び準PAZからの実効性のある避難計画を策定し実行して欲しい。 1: 県道2号線、万石橋の両端での冠水対策 2: 桃浦浜、荻浜、小積浜付近の県道の高台移設 3: 東部5浜(牧浜、小竹浜、狐崎浜、鹿立浜、福貴浦浜)や折浜に新しい避難道路を整備し県道に直結 4: 原発ゲートから寄磯浜、前網浜方面への道路の2車線化 震災級の複合災害が起きた時には自ら避難するしかありませんので、道路の確保が生命線になります。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
81	基本目標1	石巻にはJR石巻線とJR仙石線の2系統がある。地方都市としては恵まれた交通環境にある。この好条件を生かし、鉄道と共存共栄する街のあり方を考える。 具体案 ①駅周辺の開発、整備、人口集約を進める事で、少子高齢化、人口減少による空き家、集落対策をする。 ②渡波、水明、中里、石巻赤十字病院付近(専修大付近)への新駅を公共交通機関に要望し、鉄道の利便性を高め、既存の鉄道利用促進を図る事で、地方の発展に不可欠な鉄道(公共交通)の保護にもなる。	
82	基本目標1	病院船の導入について御検討をお願いします。原発事故や半島、海岸部、離島での災害救助を迅速に行う上で救命ボート等とセットで病院船の建造を石巻市で取り組んで頂ければと思います。	
83	基本目標1	石巻を仙台の通勤圏にしたら若い人が多くなるのではないかと思う。 朝2本、夕方2本の特別列車(30分~40分で走る)を考えて見る事も必要かと。	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
84	基本目標1	一市六町が合併し、今年4月で16年になるが、旧石巻(稲井を除く)市だけが繁栄し旧町は、衰退の一途をたどっている。町の中核だった役場が支所になり、ほとんどの業務が市役所に行かなければ用が足せない。住民は合併前は役場で用を足すついでに商店に寄り買物や、飲食、夜ともなれば呑み屋にも行っていたが、合併後は、商店、食堂、呑み屋が人がこぞ閉店に追い込まれた店が続出、町から灯が消えた。旧町から市役所へ出るのに宮城バスを使えば高い料金を払わなければならない。私は登米市で行なっている100円バス(市内どこから乗っても100円、小学生、身障者は無料)をやるべきだと提案したが、予算がないとやらない。又、高齢化社会になり40%の住民が65才以上の現在、市体育館、図書館が山の上であり、車のない高齢者はあの坂を歩いて上り下りしなければならない。冬雪でも降ったらこらんでケガをするかもしれない。この度の10年の計画というが、高齢者への配慮がなされていない。せめて、体育館、図書館を直ちに駅前等に建設できないなら、交通券を発行タクシー、バス、電車等利用できるよう70才以上の住民に10万円(年)ただし申請した者に限る。(所得の高い人は、いらぬというかもしれない)ちなみに仙台市は12万円(1万は自己負担)を出している。	
85	基本目標1	2年前に石巻～渡波間のバス運行をめぐって地域振興課の方と話し合いを重ねた結果、3本程バスの運行を増やしていただきました。とても感謝しております。今は車の免許返納や加齢により、活動が制限されつつあります。他人に頼らず自力で生活ができ、趣味、買物、通院等、交通手段が充実していればこそと思っています。平均寿命をのばすより健康寿命ののばす対策をして下さい。「基本目標1」を具体的な対策を立てて示して下さい。もちろん、我々世代は協力をおしめません。「ひとりひとりが共に歩めるよう」市の担当者からの歩みよりも期待します。	
86	基本目標2	sdgs14 石巻の環境について 海岸にゴミを捨てる方が多く、マナーを学ぶ機会大人を含め、海洋ゴミの回収なども石巻市で対策や教育を考えてほしいです。教育は子供、学校の先生、大人にできる対策をしてほしいです！	
87	基本目標2	牡鹿半島のメイン道路、県道2号線では今まで、何十回とゴミ拾い等の清掃活動を行ってきました。しかし全く効果がないばかりか、むしろゴミは増大しており、とても国立公園と思えない状況です。性善説に頼るのは、もはや限界かと思えます。そこで条例などで、ゴミ捨て違反者には罰金100万円を課して欲しい。(インパクトある数字が大事)更に違反者の特定につながる情報を提供した者には協力金として罰金の半分を進呈するなど、実効性のある中身を提案したいです。(意識高い方や監視者が増える方策)	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
88	基本目標2	住吉町において、3.11以前は、風向きにより、魚の腐敗した様な臭気に襲われることがありました。市外からの来訪者には、石巻市のイメージを台無しにします。住人としては我慢ならないことで、何度か市役所に電話したこともあります。今後は同様のことが無いように、行政の真面目な取り組みを望みます。	
89	基本目標2	自治体内でのエネルギー施策の考え方が抜けているのでは？ マイクロ水力、風力、太陽光をミックスし安定した地域のエネルギー供給施設の新設によりSDGsの一つの大きな目標を達成させることができるのではないかと？	
90	基本目標2	まもなく、東日本大震災から10年になります。今村先生の説明では宮城県沖大地震(近いうちに発生するとされる)ではない！と明言されました。近々に発生可能性大の宮城県沖大地震が女川原発のある場所の直下型で発生しないという保障はありません。地震国日本における原子力発電所の危険性は重大問題だと思います。クリーンエネルギーを目指すならば、北上川の水からエネルギーをいただく技術開発はいかがでしょうか？	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
91	基本目標2	震災復興により、インフラ整備などを鋭意進めて頂いて災害に強い街がほぼ完成しつつあります。しかしながら、地球環境保全上の脱炭素社会や資源循環社会の実現のためには、まだほど遠いものがあると認識しております。小生の記憶で間違いかも知れませんが、我が国は可食部分の輸入量が600万トンに対して、捨て去る可食部分量が同じ600万トンあると言われていたと記憶しています。石巻市がオンリーワンとしての活動として、ゴミの減量活動を実践できるシステムの構築についてご考慮したいと思います。	
92	基本目標2	環境について低炭素社会の実現を謳っているが、何故プラスチックの分別をせずゴミとして燃やしているのか。東松島市ではしている。生ゴミを燃やしているが、各家庭に生ゴミを肥料にする容器を配布しなるべくCO ₂ を減らすべきだ。まずすぐ実行。	
93	基本目標2	空き家をなくして欲しい。近所に草ぼうぼうと荒れている空き家を見ると涙が出る。子孫を案じない先祖、先人はいないと思う。空き家をなくす為には長男は親と同居、でなければ同じ敷地内に居る。昔は長男は家を継ぐものだと言った。ほんの少しの間我慢すれば親はすぐ死ぬ。同じ所から親の空き家を見ていれば、もっともっと関心を持ち放置出来なくなると思う。こんなにも自然豊かな空気のきれいな宮城で、せめて中学までビュアな心を大事に、若葉を見て子供を育てて欲しい。	
94	基本目標2	空き家やゴミ屋敷、独居高齢者の片付け等に介入できる条例等を作って、空き家になる前に解決できれば良いのではないのでしょうか。	
95	基本目標2	日和山は細い道が多く、救急車が来てもすぐに曲がれなかったり、近くまでどりつけなかったりしています。火事になったら消防車は来れないのではないかと心配です。家どうも近いし車一台やと通れるくらいではなあと…。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
96	基本目標2	石巻市中浦(工業港通り)の側溝整備をお願いします。現在流れが悪く、浄化槽に逆流の恐れあり。	
97	基本目標2	道路に関してのお願いです。大街道小正門から50m程南に行ったT路路を左に折れた所です。昭和40年～50年にかけて農地だった所を宅地に、次々に家がたち現在は12件ほどの家がたち、その道路から大街道に出る迂回路はありません。一番困っていることは雨が降ると川になりその長さは100m位になることもあります。排水工事後はいくらか排水する時間が短くなったかなと思われませんがまだまだです。通勤通学に困っています。水がはけた後の道路はデコボコです。昭和50年代に一度住民が出し合って舗装工事をしたこともあります。私共の後に東側の田を造成宅地になり6m道路が出来ました。4mと6m道路の接ぎ目が段差になりそこを車が通過する度ガタンと、夜になりその音で目ざめる時もあります。その段差で以前に小学生が自転車で転び骨折したこともありました。我が家で病院に連れて行きました。どうか現状を見て御検討ください。	
98	基本目標2	開北橋に歩道橋を 現在開北橋には市内側から見て右側に歩道橋がありますが、商業高の生徒や散歩している人など信号機を2度押さないと渡れないので、人も車も不便を感じている。左側にも歩道橋があれば商業高や大学に信号無しでも行けるのでは？市民センターが完成すれば人の往来も多くなるのではと思います。	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
99	基本目標2	<p>新栄西公園の整備のお願い</p> <p>理由</p> <p>①毎年櫻(けやき)の大量の落葉(11月～2月)が西風により、付近の住宅に飛び散り毎日の掃除処理量が多いこと。</p> <p>②汚物の付着したペーパー等、並びに砂塵が周囲の住宅を汚している</p> <p>解決策</p> <p>①櫻(けやき)を切って欲しい</p> <p>②ゴミ置き場の蓋つきゴミ箱に改造</p> <p>③グラウンドの地面は、人工芝に改良</p>	
100	基本目標2	<p>具体案</p> <p>①公共施設の木造化の推進 (乳幼児及び児童が利用する施設)</p> <p>②街中への公園の整備 街路樹やベンチを配し、木影で休息出来る町並みとする。街中での買い物や子育てに安心安全の環境の充実。 ※普段何げなく自然と接する事で自然環境や食料について考える力を育てる。</p>	
101	基本目標2	<p>本市の将来像を「ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち」と掲げ、6つの基本目標を施策に設け、安全、安心に暮らせるまちづくり、心豊かで思いやりのあるひとづくりを目指していることが伺えます。これらを踏えく復興・創生期間の取組<地方創生の取組>を如何に推進・実践していくかが重要かと思えます。震災後にできた新しいまちは創生を踏え取り組んでいると思いますが以前からのまちでは、いまだに復興の進んでいない遅れている地域があり、どのように創生していくのかが見えなくまち<ひと>がいるのではないのでしょうか。</p> <p>私は令和元年5月に駅前北通り4丁目を残り少ない人生の安住の地と決め転居しました。6月、大雨で道路冠水、10月の台風で冠水、車・倉庫に水が入り床上浸水する程に高くなった水が道路や庭を川のように流れ驚きました。それからは大雨注意報、台風等の予報がでると車を安全な場所へ移動しています。近所の方々も同じです。とても安全安心して暮らせるまちではありません。</p> <p>そんな中、昨年10月市長記者会見で今年度末に完成予定の11ヶ所のポンプ場並びに排水関係工事のうち7ヶ所を次年度へ持ち越すという発表がありました。中央排水ポンプ場の完成を心待ちにしていただけに残念でなりません。他の地域の方々も同じだと思います。どうか早期の完成を目指し、防災体制の確立を図っていただきたいと思えます。その事が<まちづくり><ひとづくり>に拘わり<地方創生の取組>の人口戦略・未来都市への実現に繋がっていくものと思えます。最後になりますが石巻の玄関・顔ともいえる石巻駅周辺の整備・開発をお願いします。ひとりひとりを大切に市民と行政が共に創るまちでありますように。</p>	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
102	基本目標2	<p>旧河北町飯野川に設置されている排水ポンプの増設を嘆願します。</p> <p>自然災害の巨大化に伴い、台風19号の大雨時に飯野川地区で床上浸入被害に会われた方が数軒ありました。迅速な対応を願います。</p>	
103	基本目標2	<p>門脇一番谷地、二番谷地の国道45号線北側一帯は下水道が通ってないでまだトイレがくみ取り式か浄化槽です。早く下水道工事をしてください。</p>	
104	基本目標3	<p>戦後に生まれ石巻で育ち幸せだと思っていました。東日本大震災から地獄は始まりました。孤独死と天涯孤独の不安は増加傾向にあると思えます。自助共助ではどうにもなりません。「エンディングプラン・サポート事業」の実現を希望します。</p>	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
105	基本目標6	市役所内及び駅前に市議会を中継するモニターの設置。 市議会開会中は常時放映 市政を身近に発信する事で、次世代のリーダー育成となる。	
106	基本目標3	①医療格差(例:人工透析施設の不足、市民病院の機能不足) ②健康増進施設の不足 ③地域包括ケアセンターを核とした医療・介護システムの周知不足などから、全ての人々が自分らしく健康に暮らせるまちはいつ来るのか疑問です。また、今後高齢化社会の益々の進展による免許書の返納などにより、公共交通機関の確保は離島、半島部に限った問題ではありません。タクシーの公共交通機関化(ワンボックスタクシーの乗り合い定額化など)、既存の交通システムに拘らないシステムの構築が必要と思います。	
107	基本目標3	①新型コロナ対策について ・感染症専門医師の採用あるいはアドバイザー契約を行い、新型コロナウイルス感染を適切に予防しつつ、感染者が出た場合は、感染者が排除されない仕組みと経済及び生活が行き詰まらないように対策を早急に構築すること。 ・生活困窮者等に感染者が出た場合に備えて、福祉のプロである社会福祉士を包括ケアセンターに集中配置し、対応するため機構改革を行うこと。 ・緊急事態が長引いていることから、感染症と福祉に精通した職員を一カ所に集め、ワンストップで対応すること。併せて、生活保護等が必要な市民への支援を、速やかに行える体制を構築すること。 ・感染症対策としてワクチン等が、速やかに接種できるよう官民を超えた医療体制を確立すること。 ②市立病院の体制強化について ・総合診療・家庭医療プログラムの充実を図ること。大学からの多くの研修医を受け入れる態勢を構築すること。総合医の育成を図り、高齢社会を見据えた医師の確保を図ること。 ・学校保健や子育て支援の立場から、小児科医や妊婦検診が行える医師を確保すること。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
108	基本目標4	石巻市を全国にアピールする。昨年東京へ石巻市支所を設けたが、常駐職員を10人位、石巻の農水産物の販売観光は国内だけでなく外国へも発信する。ちなみにふるさと納税は石巻市は年2~3億円、累計でも10年で20億円に満たない。多賀城市は年100億円、大阪の〇〇市は一番で年300億円も集めた。この差はひとへに宣伝と戻し金返礼品で現金ではない(普通は3割、多賀城5割、〇〇市6割) 一 観光事業 イ日和山~駅前にケーブルカーを設置する ロ観光地をめぐる観光バスを出す 大型、中型、小型バスを用意する。現在は小型3台のみ 二 水産業 カキ祭りは駅前でもやる。水産物=獲りたてをアピール=新鮮 国内外に宣伝=販売増をねらう 三 農業 水田は3割減反をやめすべて米を作る 3割に普通米、7割に酒米を作る 市で酒倉を建て酒をつくって外国に売る 四 林業 石巻森林組合と連携し廃材の活用(間伐材)=バイオマス 銘木=百年以上の杉檜)を売り出す 五 畜産 牛肉=石巻市として銘柄を確立 和牛は県内でも一.二を競う	
109	基本目標4	①水産業の振興について ・水産振興策として、捕る漁業から育てる漁業へと転換を進め、市場への魚介類の安定的な供給を図るためにも、養殖漁業に対する行政による財政支援を拡大すること。 ・陸上で水道水を使ったサケの養殖や、「雲丹・海鼠・鯛」養殖など各地で行われている育てる事業を参考に、養殖業を付加価値の高い産業へと繋げるためにも、産学官の連携を図り支援すること。 ・後継者不足に陥っている漁業に従事する労働者の確保につなげる支援を行うこと。	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
110	基本目標4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学卒業後も就職先が無く若者が定住できない ・海があって水産加工が盛んなので、養殖や加工など研究設備を設け、雇用を増やしていく。 ・ここに住むメリットを増やす為、手当てや税優遇など 	
111	基本目標4	<p>農林水産業や製造業、観光業など、多様な産業構造と記述してありますが、石巻圏域の農業は米と葉物が主体であり、付加価値の高い品種の生産と全国に名だたる産物に乏しい感じがします。</p> <p>また、水産加工業については、産地としては有名ですが商品の競争力の面では疑問符が付きます。震災により未だ取引が復活せず販売に苦慮している事からも頷けます。日本の人口は減少の一途を辿ります。大量生産・大量販売の産業構造からの脱却のために、付加価値の高い競争力のある商品の開発と飽和状態の国内マーケットからの脱却として、海外進出を睨んだ商品開発は農業、水産業どちらにも通ずる事ではないでしょうか。そうでないと、資本主義社会の原理として、雇用主はコストカットの必要性から、人件費削減のため外国人労働者の導入を更に進めて低賃金化を図り加えて、非正規社員としての雇用も益々増える予想されます。</p> <p>困難な事ではありますが、産業構造の改革を進めない若者の定着は望めないと思います。</p>	
112	基本目標4	シカ肉を活用して地場産業の一つに育てて欲しい 害獣として毎年多くのシカが駆除されそのほとんどが無造作に地中に埋められていると伺っています。テレビニュースで拝見しましたが他県ではシカ肉を使って自衛隊等の給食に提供していると伺います。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
113	基本目標4	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が来て、楽しめる街づくりを。(一般人からのアイデア募集や技術提供などを受けては) 	
114	基本目標4	<ul style="list-style-type: none"> ●テーマパークを建てて観光事業の発展を希望します。 (・仙台ハイランドも無くなったので、雇用促進にもつながる。 ・昔、あった小さなテーマパークじゃなく、壮大な、大人も楽しめる、AIなど取り入れて。) ●映えるスポットを作る。 (海が震災とつながってしまうけれど、10年経過を節目に、明るい未来へ向かえる様に、海岸などに、映えるスポットの建設をして、観光客を通年、呼びこめる様な活気ある街になれば良いと思います。) 	
115	基本目標4	<p>南浜町公園 - 日和山 - 中瀬 - 湊町 (駐車場) 公園・神社 マングラ等 [野外音楽室] [何か新しい施設]</p> <p>長崎、神戸(六甲山)、函館(山)の様に市内の3~4ヶ所を結ぶロープウェイ(ゴンドラ)を設定して欲しい。市外から来た人達が、広い駐車場に車を止めて、ながめの良い日和山に登り、川を渡り中瀬に行き、戻りも車を運転したり駐車場、登りを気にしないで動ける様に。一年間に3~4ヶ月しか動かない、スキー場のリフトを思えば通年で動けます。高令の方も、足の弱った方も安心して動けます。中瀬にもう一本橋をかけるよりは安く早く作れるはずで。</p>	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
116	基本目標4	<p>先ず、国家的遺産とも言えるサンファン号の取壊し、また一つ石巻市の名所が消え去ろうとしています。石巻市の目玉となるものは何でしょうか？ どんなに立派なビジョンを掲げてもそこに住んでいる人々の協力や人の往来がなければ益々過疎子の一途を進むと考えます。</p> <p>1 旧市街地では、依然として深い旧態依然の考えがあるように思いますので行政指導により官、民の意識改革が必要に考えます。</p> <p>2 観光面ですが、数年前にイギリスの王子が日和山公園を訪れたことがTVで紹介されていました。当時他県に住んでいたのですが「石巻って綺麗なところだな。」と思っていたところ、縁あってその後移住してしまいました。が、住んでみて「思いとは程遠い」ものでした。</p> <p>3 日和山公園は、市民の皆さんの思いの地でもある場所で、中洲の漫画館、元気市場から近い、更には、外国客船等が寄港した場合多くの外国人が訪れる場所です。 是非 日和山公園に通じる道路、(階段)・案内板・景観・施設等の整備を切にお願いします。</p>	
117	基本目標4	<p>○石巻市の経済発展を目指して I. 観光立地を第1として ①点在している史跡名勝地を有機的に結び付ける交通手段・その他の駐車場サービス施設等の充実をはかり観光事業の発展をはかる。 ②市内に緑地・公園等が他と比べ極端に少ないと思う。 中心部に、市民が自然にそしめる公園があって、自由を楽しめる場所があれば安心・安定した生活を送れることと思います。 ③震災で市内のあちこちに空き地が散在しているがこれを集約化して有効に活用し市の発展に期すること。</p>	
118	基本目標4	<p>私の夫は稲井石を加工する石工です。 稲井石は牧山でしか採れませんが、今現在、途絶えようとしています。夫は社員の立場にあります。10年を待たずに、なくなってしまうそうです。 個人企業では守りきれません。 稲井石は価値ある資源ですが、採石する技術も加工する技術も、伝承出来ずに失ってしまいます。 もし、街の計画に入れて下さったなら、間に合うかもしれません。</p>	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
119	基本目標5	<p>養護学校が主地域から離れた郊外にある。もっと地域と深い繋がりをもたせることが必要。ジェンダーレスの叫ばれる世論に逆行している。</p>	
120	基本目標5	<p>稲井学区は中学生からスクールバスが運行されず、多くの学生が自転車通学をしています。公立の学区内の学校でありながら、遠距離のため徒歩では通学できず、強風・雨・雪等の悪天候時は安全性を考慮して、保護者により車で送迎をしているのが現状です。遠距離だけではなく、勾配が多く、橋の上では悪天候の影響を受けやすく危険です。また、通学路には民家や商店等もほとんどなく、通学中に何かあったとしても携帯電話を持ってない学生は連絡手段もありません。今のように路面が凍結して危険な時期だけでも、通学支援があれば安心なのだと思います。「安全・安心に学ぶための教育環境の整備」「子育てと仕事の両立」が実現できるよう支援を検討していただけたらと思います。</p>	
121	基本目標5	<p>今年度の高校入試の予備登録で石巻管内の高校のほとんどが定員割れにはびっくりしました。子供数が減少している事につきまとは思いますが、この先が心配です。 仙台と古川に県立の中間一貫校があり石巻市内の小学校からも多数通学しているようです。 桜坂高が県立に移接するかもというニュースを聞きました。これを機に一貫校にされてはいかがですか。 普通科だけでなく特色のある学科(例えば、調理師看護師等の免許が取得出来るような)を目的とする。</p>	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
122	基本目標5	<p>渡波の獅子風流はかなり古くから行われていたと伝えられています。地区の根岸部落には400年以上の作といわれる獅子頭が現存されています。藩政時代、明治、大正そして昭和の初め頃まで渡波全町で、笛や太鼓が鳴り響き、正に渡波の正月の風物詩でした。しかし昭和40年代頃から各町内会の春祈祷としての獅子舞をやめる地区が多くなり、やがて50年代になると、ほとんどの部落で獅子風流をやめてしまいました。</p> <p>永い間このような事態を憂慮した土井喜美夫前市長の、渡波の獅子風流をつたえてほしいの言葉を頂き、昭和56年、渡波獅子風流が石巻市民俗文化財に指定されたときの保持者5人を中心に、12名の会員を募り平成20年渡波獅子風流塾を立ち上げました。以来、幼稚、保育園児、小学生、中学生の指導育成に励んで参りました。しかし、これからと思う矢先、東日本大震災で、会員、塾生、すべて被災し、家族、友人、知人を亡し、家を失い、さらに獅子風流の用具にも大きな被害をうけました。</p> <p>その様な立ち上がる気力も失ったとき、子供たちの獅子風流をしたいという言葉に促され立ち上がる元気を頂き再開しました。以来避難所、仮設住宅、老人保養施設等慰問活動をさせて頂き、数多くの感動を頂くことができました。と同時に民俗芸能の人々に与える感動の力を身に染みて深く心に刻むことが出来ました。</p> <p>近年は震災後、この被災地に寄せて頂いた多くの支援に、石巻に元気が戻りました御礼を、渡波獅子風流の演舞で届けています。</p> <p>しかし、昨年の正月以来、新型コロナウイルスにより 全ての活動が出来なくなりました。大きな子は進級、受験、学業の遅れを学習塾等で練習ができない、練習ができないので新しい子の募集ができない。地域の中学校では文化祭活動で協力させて頂いていますので、あわせて小学校ともご相談したいと思っておりますが、コロナが治まらなければお伺いすることもできず、この様な状況が続くと今年も伝統芸能継承活動の中断を余儀なくされてしまう事となります。これまで当塾で活動してきた子供たちの思いを継ぐためにも、適切な御助言をおねがいいたします。</p>	
123	基本目標5	<p>・サンファン号解体の予定ですが、その前に大海に出航させる。 復興支援下さった皆さんの地(例えば、石巻～横浜～名古屋～大阪)お客さんを實際乗せて行う。</p>	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
124	基本目標5	<p>かつて村上造船所で、船大工の技術を結集して再現したサンファンパウティスタ号の保存を切望いたします。 中瀬公園の整備に際し、村上造船所跡地に、令和の箱舟として陸上保存を願います。 船内には、コロナも含めた予防医学に裏付けされた加工食品を展示販売！ 全国公募方式で金賞銀賞銅賞を毎年決定表賞する。</p>	
125	基本目標5	<p>【石巻市総合体育館の老朽化について】 スポーツの各種公式大会や、2000人を超える規模の集会やコンサートなどが実施可能な施設でもあることから、利用価値、頻度ともに非常に高い施設であるにも関わらず、昭和55年の開館以来、施設をリフレッシュするような大規模な改修工事は実施していないと思われ、先の地元紙の報道にもあったとおり、雨漏りの発生や、空調設備の故障など、通常の利用に支障を来している状況が増えつつあり、将来を見据えた抜本的な対策もないまま、老朽化の一途を辿っているように感じます。災害発生時の避難所にも指定されていると言う点からも、市民にとって重要な施設のひとつであることは間違いなく、建て替えを前提とした更新計画を是非ともご検討いただきたいと思います。 なお、総合体育館の駐車場は、収容人数に対してかなり少ないように思われ、大規模イベントの開催時には、路上駐車等による交通渋滞や近隣住民とのトラブルが常態化していることなどからも、更新計画の際は、交通の利便性も勘案した立地場所の選定にもご配慮いただけたらと思います。</p>	
126	基本目標5	<p>スポーツ施設を充実させ、各種大会(プロ・アマ問わず)の誘致及び合宿等の誘致による交流人口の増加を図るように計画してはいかかがか。 又、スポーツと健康についても盛り込めると市民全体の健康意識が変化するのではないのでしょうか。</p>	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
 そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
127	基本目標5	<p>○近年フィットネス業界の普及によって運動習慣が見直されている中で、石巻市内でも運動の選択肢が広がったように感じられる。しかし特定の競技スポーツや生涯スポーツの利便性がよくなっている一方、種目によって利便性の差が生じているように感じられる。</p> <p>○石巻市の特徴を生かしたスポーツ事業や計画があるとよいのではないか。</p>	
128	基本目標6	<p>市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまちと記述されておりますが、課題は現場にあると言います。ぜひ市民の声を行政運営に反映させる仕組みを構築して下さい。しかも早期にです。本総合計画を市民のための総合計画にするためにも不可欠な事と思います。</p> <p>ゾウの耳とライオンの目を以て地域をマネージメントして行くと言う「経営型」視点での行政運営をお願い致します。</p>	
129	基本目標6	<p>常に住民の声を聞く姿勢こそ大事であり、市の発展につながると思う。</p>	
130	基本目標6	<p>「ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩む町」とも素敵な言葉で、これから石巻の発展のため、ひとりひとりを思いやり、手を取り合って目的に向かえたらすばらしいと思いました。石巻は広い範囲になり、町内同志、話しあえる機会が遠くなりました。ましてや私達高齢者は、昔から、なれ親しんだ、日和山、ひばり野海岸、渡波海岸、雄大な北上川の流れ、それにそって繁栄した商店街の町並みの変貌ぶりに驚き、昔の面影「三十五反の帆をまきあげて行くよ仙台、石巻」の活気をすこしでも取りもどせたら願います。</p> <p>昔、日和山のお祭り、羽黒山のお祭りは、きそいあって、おみこしが出て太鼓や鉦の音、かわいい稚児行列が出て、神楽があり各家庭でお赤飯をたいて祝いました。</p> <p>今は人がいないから無理というのではなく、祭りは、どこの地方でも、人とのつながり、神様を敬う敬虔なひと時であって大切な行事です。高校生、中学生、子供達をつのって先人の知恵、再現の道にと、お考えいただけたら幸いです。</p> <p>川開きは、遠くからのお客様がいらして、心おどる待ち遠しい行事でした。新田次郎のアラスカ物語に海門寺公園の盆踊りが出て来ますが、仮装して踊り賞品の出た盆踊りもありました。石巻の夏の行事は海水浴をまじえて、遠くからのお客様を海の幸、山の幸で、おもてなし出来、毎年の行事になりました。この自然豊かな、すてきな石巻のこれからのを思いますと混沌とした昔の中での事で、困難なことと思われます。</p> <p>これからは、それぞれ多彩の分野の専門的な指導者を招き教訓をうけて、石巻から有能な人材を輩出して行く事だと思います。</p> <p>石巻市役所に臨時の職員とした場をつくり予算をあみ出し囁託として、それぞれの分野の指導者をむかい入れる構想は出来ないのでしょうか？</p> <p>未来の子供達青年達の夢と希望は、そんな土台から生まれて行くと思います。</p> <p>泉町の墓地跡は市の中心にあり、門脇、住吉、山下、大街道からの集まりやすい場所です。そこを広場にして、多彩な方々のお考えでお祭り広場にもなり夢と希望をつくりあげる場にもなり災害時の避難場所にもなると思います。一時もはやい整地を望みます。ひとりひとり多彩に煌めき共に歩み、希望にあふれる石巻によみがえります様心から願います。</p>	<p>御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。</p>

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
131	地区別	<p>雄勝地区の具体的な地域課題は、①拠点エリアの収容、②低平地の未活用地の有効活用、③拠点エリアと町内の各施設を線で結ぶ『滞在型の観光体験プログラム』を立案し、それを運営する母体(まちづくり会社)をつくること、この3点が当面の課題だととらえています。</p> <p>①は雄勝総合支所と道の駅の運営協議会が担うことになるでしょうから、住民としては②、③を担うべきと考えています。②に関しては、雄勝ガーデンパーク構想を具体化する協議が進んでいますので、当事者の一人としてその展開に期待しています。③については、現在のところ構想はありますが見通しは立っていません。道の駅と線で結ぶ各施設とは、具体名を挙げれば、大須灯台、モリウミアス、波板ラボ、雄勝ローズファクトリーガーデン、雄勝森林公園などを考えています。『滞在型の観光体験プログラム』を立案し、それを運営するためには、運営母体(まちづくり会社)の設立が必要ですが、まちづくり会社をつくるためには、それなりのスキルを持っている人材、特に若者が必要です。町内にその人材がいるかどうかわかりませんが、まずは発掘を行うとともに、外部の若者を活用する必要があります。その方策として地域おこし協力隊を活用することも可能かと考えます。構成メンバーは、もちろん住民有志主体のまちづくり会社の設立となります。</p>	
132	地区別	<p>東日本震災から10年たとうと、被災者の喪失感、虚脱感は、そう簡単に言えるものではない。特に、高台に移ってからは、住民同士の交流は、極端に減っているし、一人暮らしの高齢者も多くなっている。拙宅は、夫がまだ元気で通院のための運転をしてくれているが、一番近い石巻赤十字病院まで車で片道1時間半。夫の運転が無理になったら、十八成に住み続けるのは無理だし、通院できるかどうかは命直結。石巻市民である限り、命に格差があってはならないと思う。透析と限らず、週に一度、月に一度でも、通院の必要のある人は多い。通院に限らず、車がなければ買い物も難しい。バスは本数が少ないし、バス停まで、柵や壁など、すぎるものが何もない山道を結構歩かなければならない。今、十八成の高台は、8軒が空き家になっている。このままではやがて 廃墟になるのは目に見えている。通院、通学、通勤、買い物に難しいこの地に、来てくれる人は望めない。どうかその件について、お考えいただきたく、よろしく願います。通院の必要な人、買い物に、一人暮らしの高齢者にも優しい地区になってくれますように、切に望みます。</p>	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
133	地区別	<p>牡鹿半島の現状で高齢者の方の意見として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.女川原発の事故時の非難が安全に、スムーズにできるのかが一番心配。 ①一時避難場所の確保(鮎川など)、その後の避難所への安全な移動が具体的にイメージ困難です。具体的な対策を今後も検討していただきたいと思います。 2.鹿対策をより進めていただきたいと思います。復興住宅の庭先にも出てきています。花や植木も食べていきます。僅かの畑も作るのが困難な状況です。 3.道路の整備が完成したら、桜や花(つつじ・アジサイなど)道路周辺(私有地など)に植え、花を楽しめる場所を作りたいと考えています。住民も観光に来る方にも楽しんでもらえる場所作りを考えたいと思います。そのためにも鹿の整理もされていることが望まれます。 4.鮎川の以前の公園が再度開発されることを希望します。景色も良く、季節の花々を楽しんだり、公園の散歩や寛げる場所づくりを希望します。金華山の知名度を上げる。観光スポットにするなど。 5.復興住宅での生活は諦めている思いがあります。 ①海が見えない②息が詰まる思い③店が近くに不便・・・ 以前は隣近所へ一歩したことで行き来をしていましたが、高齢で出歩くのも負担で億劫になっています。気軽にお茶っこにも出かける事をしなくなっています。送迎の足があり、昔なじみの人たちとおしゃべりできる場所・機会が大切です。 6.復興住宅のコミュニティや繋がりができる場所づくりに、集会所の使い方を柔軟に考えてはいかでしょうか。フラツと立ち寄れる場所、軽食を食べにいける場所、数時間本を読んだり、おしゃべりをしたりする場所、子供たちが安心して過ごしていただける場所・・・。どなたかが順番に当番して滞在し、何かチケットのようなものを買えるなど・・・。 7.浜の仕事(海の資源)は山の整備にも関係があると思います。放置しないで山の資源も整える事が海にもつながると思います。 	

※総合計画では、本市の施策の方向性と各分野における施策展開を示すものであり、具体的な取組につきましては、各個別計画で設定します。
 そのため、具体的な取組に関する御意見につきましては、担当部署と共有し、今後、取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます

No.	項目	意見(要旨)	石巻市の考え方
134	その他	女川原発の再稼働について、石巻市議、市長、県議、知事も同意です。 放射性物質を含む処理水を海洋放出に反対です。他の方法はないのでしょうか？ トリチウムの勉強会を、石巻市議、市長、市民にもくわしく教える会を開催願います。 流されたら岩手、青森、宮城、福島、宮城他、流されたら風評被害は必ずあります。 流されたら漁業は終わりです。トリチウムの勉強会を至急希望する。	御意見につきましては、担当課と共有し、具体的な取組を推進・検討する際の参考とさせていただきます。
135	その他	公共事業は一度走り出すと時代遅れになっても邁進しつづける傾向がありますので、3年又は5年などのタイミングで軌道修正できるタイミングがあってもよいのではないのでしょうか。	
136	その他	市議会議員は条例を改正し、報酬を1/2にし定数を2倍にする。(スウェーデンでやっている)歳費は同じで倍の住民の意見が市政に反映する。	